コマツナのコナジラミ類の発生実態解明と防除法の検討

【背景と目的】

近年、江東地域のコマツナに、コナジラミ類の多発が報告されている。トマト等ではこれまでに、0.4㎜目合いの防虫ネットやローテーション散布、天敵の利用などの対策がとられてきた。しかし、コマツナにおいては、コナジラミ類に対する登録薬剤が少なく、化学合成農薬以外の防除管理技術が求められている。そこで、都内のコマツナ栽培におけるコナジラミ類の発生実態を明らかにするとともに、化学的防除法以外の各種防除法を検討する。

【研究概要】

（１）発生実態調査

①現地圃場における発生消長

②圃場および周辺環境の把握

③発生種、バイオタイプの判別

（２）各種防除法の検証

①化学的防除法以外の物理的防除法、生物的防除法の検討

②環境に影響が少ない散布剤(天然物由来の気門封鎖剤、忌避剤等)の検討